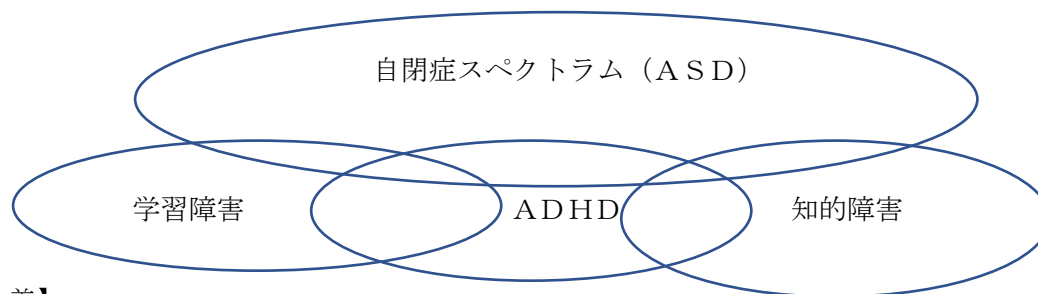


研究の成果

- 1 日 時 令和5年10月18日
- 2 講 師 巡回心理士 スクールカウンセラー 林 佳子 先生
- 3 テーマ 新しい時代に対応した学校
～支援が必要な生徒に対するより良い指導法を学び教員の授業力の向上を図る～
- 4 研修成果



【講 義】

- 発達障害 クラスに8.8%
- 医師の診断がないと障害とは言えない
- 遺伝性とは言えない
- 虐待を受けた子に発達障害と同じ症状が出る
- 配慮事項としては・・・
- 前方の席にする
- 子どもをさぐろうとする気持ちが大切
- 寝ている子に肩をたたく「〇〇ページだよ」
- 「最後まで聞いてね」、「感想あったら書いてね」
- しゃべらないから関係が悪いというわけではない
- 授業の見通しを伝える
- 「あと〇〇分」と具体的に伝える
- 他先生から情報をもらうこともできる

【演 習】 事例をもとに若手教員と指導教員が一組になりロールプレイ



【ロールプレイ】



【講師による助言】

生徒一人一人に寄りそい、繰り返し丁寧に指導することが大切であり、その積み重ねこそが学力の定着・向上につながることを改めて学んだ。